

# LIFE GOES ON

作ノ森川正太

新生ラッドライフスパイスの「E」終了後、ライブハウスの前のモチとサキ。  
片付けを済ませたラッドライフスパイスが出てくる。

## #1 「ライブハウス前」

サキ ……お疲れさま！  
リヨウ ……おつ、お疲れ。

見守るモチ、ゴン、リク、アヤは何やら作業。

リヨウ あのさ、  
サキ 何？  
リヨウ どうだった、俺？  
サキ 何がよ。  
リヨウ いや、上手くできてたかなーと思って。  
サキ あっはは、変なの！  
リヨウ え？  
サキ プロがアマチュア（アマバン）ににどっこう聞くもんじゃないでしょ！  
リヨウ んー、まあ・・・な。  
サキ そんなに聞きたいのならいくらでもダメ出ししてあげるわよ。  
リヨウ ……  
サキ あのさ、

リク、寄ってきて

リク おい、リヨウ、打ち上げ行くぞ！  
リヨウ あ、ああ。で、何？  
サキ ん？・・・やっぱいいや！飲み過ぎてぶっ倒れんなよ！  
リヨウ おつ、じゃ、またな！モチ・・・  
モチ 大丈夫だよ、気にすんな、行ってこい！

リヨウ うん、今日は有り難うね。

モチ おう、またな。

ラッドライフスパイス（4人）去る

モチ サキ？

サキ ん？

モチ 大丈夫か？

サキ 全然ダメ。

モチ そっか！

サキ あい・・・やっぱカッコいいわ〜

モチ （笑顔）だな！

サキ ホント、むかつくくらいカッコ良かった。

モチ ……

サキ ねえ、バカリーダー！よし、今日は私たちも朝までカラオケ、ね！

モチ ええー！

サキ 歌りたいの〜

モチ あっははは、うんうん、よっしゃ行くか！

2人去る 暗転

## #2 「打ち上げ会場」

関係者やスタッフでこった返している店内。ラッドの4人はテーブル席

アヤ リヨウ君ってホント、やるよねー！

リク うん！俺のファン2割は今日あいつに持ってかれたわ！

アヤ じゃ、あと8人しかないじゃん。

リク 何をー！

盛り上がる。そんな中、一人思い詰めているリヨウ

ゴン リヨウ、どうした？

リヨウ いや、別に。

ゴン おいおい、頼むぞ、酔って暴れたりするなよ！

リヨウ え？

ゴン ウソだよ、ウソ！

盛り上がりつつ 暗転

### #3・オフィス会議室

数日後。ラッドライフスパイスの4人、新曲の打ち合わせ中

リク やっぱポップでキャッチーなラッドらしさが大事だよなー。

アヤ それにリヨウ君のアレンジとギターが入るとどうなるか？だよな。

リク こないだのは持ち歌に乗っかっただけだからさ。

アヤ なんかさ、ハートに感じた曲、あった？

リヨウ ……

アヤ、リク、ゴン ……？

ゴン おい、リヨウ！

リヨウ え？あ、ああ…。

リク おいおい、おい！大丈夫かよ、こんなんです。

ゴン リク！

アヤ どうかしたの？

リヨウ いや、なんでもない。ごめんな。

リク いや、よし、じゃ続けるぞ。要するに今までの俺たちの音と、お前の音を

どうやって合わせていくかって話だ。

リヨウ そうだな…もつと今までの曲を聞き込んでみるよ。

リク ？

アヤ ……やっぱ何か変だよ。ゴン、またにしよう。

ゴン ああ、そうだな。とりあえず俺はマネージャーと話があるからみんな自分で考えててよ。

それぞれ返事。リク出る。

アヤ リヨウ君？

リヨウ ん？

アヤ あー、やっぱいいや。お疲れ！

リヨウ お疲れ。

アヤ出る 一人会議室に残るリヨウ。

ゴン戻ってくる。

ゴン あれ・・・まだいたの？

リヨウ え、あ・・・うん。

沈黙

ゴン なあ。

リヨウ ん？

ゴン 後悔してるのか？ラバーソウルのこと。

リヨウ ……

ゴン ……

リヨウ 大丈夫だよ。気にしてないから。

ゴン そっか。

沈黙

リヨウ (おもむろに帰り仕度) じゃ、また。

ゴン ……お疲れさん。

リヨウ出る

ゴン ……

暗転

#3 ・上手(公園)センター(リヨウの部屋)下手(道路)

下手 外 道ばた

サキ、バイト帰り。アヤとリク待っている。

リク お、来た来た！

アヤ サキちゃん！

サキ あ、ラッドの・・・

リク どうも

アヤ あのさ、今から時間ある？

暗転

上手 公園

ゴンが待っている。モチ、来る。2人、目で挨拶を交わす。

モチ 悪いな、忙しいときに呼び出しちゃって。

ゴン ううん、お互い様だろ、いろいろ大変なのは。

モチ ああ、まーね。

暗転

センター リヨウの部屋

帰宅してギターを弾いているリヨウ。溜息。

ヘッドホーンでラッドの曲を聴きながら。何かメモっている。

リヨウ ……クソ！

暗転

下手 道路

リク そうなんだよ。あのライブ以来、何かこう……へこんでる？

っていうか落ちてるみたいな感じでき。

サキ ふーん。

アヤ サキちゃん、リヨウ君のこと何か知らない？

サキ 知らなくも……ないかな。

リク、アヤ ……！！？

サキ アイツのことで知らないことなんか無いよ。

センター、灯。下手と同時進行。

リヨウ、聴いては書き、の繰り返し。物にあたる。

サキ アイツはホント強がりでカッコつけ屋だし。私もそうだけど2人ともワガママな気質だからよくスタジオでもケンカしてたし。毎回もちが、あ、ウチのリーダーなんだけど、モチが止めに入ってるさ！ライブ直前にもなると口を効かなくなるくらいぶつかってたし。でもすごい繊細で、自分の壁？みたいなのにぶち当たってくじけて……で、その度に泣いて。アイツね、人前じゃ泣かないって言ってたけど私の前では子供みたいに泣いて、喚いて、笑って……

アヤ サ・・・キ・・・ちゃん？

サキ、泣いている。アヤ、優しく抱きしめる。

アヤ うんうん、大丈夫、大丈夫だよ。リヨウ君にはサキちゃんがいるんだね。それに2人には私らがついてるからね。

センター、下手、泣き声と共に溶暗。

上手、灯

モチ そうか、そうか、リヨウがねー。

ゴン やっぱお前らのとこ辞めたことを引きずってたのかな、と思ってさ。

モチ うん、俺たちもいきなりのことだったからちゃんと見送ってないんだよ

ゴン ……

モチ あ、いやいや、別にラッドを責めてるわけじゃないからね。

ゴン ああ。

モチ リヨウもさ、メジャー目前まで行ったことがあったんだよ。

ゴン え、そうなの？

モチ アルゼンチンスライダーって知ってる？

ゴン え？アルスラ？知ってるよ。インディーズなのに全国ツアーとかやっちゃった

とこでしょ！？

モチ そう。あいつ、そのベースだったの。

ゴン えー！？最初からギターじゃなかったの？

モチ ギターもやってたけどあそこではベース。

ゴン つくづくスゲーな・・・

モチ でも仲悪かったんだよ、ヴォーカルの奴と。「何だっさっきのリフは？」

「はあ？テメー俺のベースに文句つけるのか！」って、そりゃーもうアルスラ恒例だったんだから。

・・・！

モチ アイツ、それでも自分の首を信じてやっていたんだけど結局ダメでさ。その時俺のバンドも幽霊バンドになっちゃってて。まあ、ちょこちょこ他でヘルプでたたいてただけだよ。たまたまスタジオで会ってさ、こっちからすればアルスラのベースなんだからもうドキドキだよ。で、解散の話聞いて・・・。よくスタジオでジャムってたんだよ。アイツ、やっぱスゲーんだ。音の作り方、コードの使い方！ハンパないんだよ。それでいてしっかりドラムと絡んでくる

し。俺さ、アイツとサキと3人でラバーソウル作って……もし売れなくても  
コイツらとずっとやっていければそれでいいかなってどこかで思ってた。

ゴン もっちゃん……

モチ ホント、あいつのこと頼むね……。んじゃ！メジャーデビューおめでとつ。頑  
張れよ！

ゴン なあ

モチ ん？

ゴン それで終われるの？

モチ ……俺は、ラバーソウルはつぶさないよ。

ゴン なら、何で？

モチ (涙ぐむが)なあ、最後に1回だけでいいから……ライヴやらせてくれない  
か？！

ゴン (受けて)

暗転

#### #4・オフィス会議室

ゴンがあれこれ書類を見ている。リク、アヤ、来る。準備を始める。

リク ねえ、今日リヨウは？

ゴン んー、何か送られて来るってよ。

リク あ、そう。

間

リク、ゴン あのさ……

リク、ゴン 何？

リク いや、ゴンから。

ゴン お前が先でいいよ。

リク いーえ、リーダーからどつぞー！

ゴン ……ライヴ

リク、アヤ ？

ゴン させてあげない？

リク ……何の？

ゴン ラバーソウルの……

リク、アヤ、吹き出す。

リク なーんだ！

アヤ 私たちも同じこと考えてたんだ！

ゴン え？そうなの！

リク さすがにココまで来たらラッドからリヨウは外せないからさ、せめてちゃんと解散ライブみたいなのをやらせてあげたいなーってさ。

ゴン そっかー、よかったー！

リク そしたらさ・・

溶暗

### #5 別のライブハウス

ラバーソウルがよく演奏していたライブハウス。ステージは幕。  
ラッドの4人が入ってくる。

リヨウ 何！どうしたの？

リク いいから、いいから。

アヤ たまには息抜きしなきゃ、ね！

ゴン だいぶ煮詰まってきたんだろ？だから、今日は他所のバンドでも聴いてリラックスしよう、な、リラックス！

リヨウ 別に、そんな煮詰まってるわけじゃ・・・

リク いいんだって！ほら、始まるぞ！

客席の灯りが落ちる ステージに照明。 先とモチの姿。

サキ (マイクを手に) どうも、ラバーソウルです。

リヨウ ・・・・・！？

サキ 今日は事情があつてギターのリヨウがまだ来てません。

ざわめく客席。様々な声が。

サキ ちょっとワケあつて。先週と先々週、お休みしちゃってゴメン。

ウチらいろいろ考えた結果、今日が最後のライブとなりました。

さらさらざわめく客席。

サキ こんな晴れ舞台に遅れてくるなんて、ウチのリヨウが本当にすいません！

モチ リョーオ、リョーオ・・(コールを始める)

観客がコールに答える。次第に会場全体に広がり、

リク ひひひ！ほら、呼んでるよー。

アヤ 遅刻はいけませんねー。

リョウ お前ら！知ってたの

モチ タネ明かしは後だ！ほら、行ってこいよ。

リョウ ・・・

モチ 奴らにも会場のもんなにもお前の音をガツンとぶつけてやれ！

リョウ、ステージへ。ギターの設定をしながら

サキ リョウ・・・

リョウ ん？

サキ なんか・・・ごめん。

リョウ ・・・

サキ リョウ、私すごく考えたんだけどさ、その・・・

リョウ 辛気くさい顔してんじゃねーよ、ほら行くぞ！

サキ でも・・・

リョウ 俺だってお前に命もらったんだっつーの！

サキ ！！

リョウ モチ・・・

モチ 分かってるよ、新曲がうまくいってないからダメなんだろう？

リョウ モチ！

モチ さ、行くか！

リョウ、マイクスタンドの前へ。

モチ (マイクで)俺たちが！

3人 ラバーソウルだ！！

3人の曲、高らかに・・・

幕